



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : [information@hokoren.com](mailto:information@hokoren.com)

□ 編集責任者 渡辺 信夫

## ■ 新春賀詞交歓会を盛大に開催

賀詞交歓会を1月24日、ホテル東日本宇都宮において開催しました。会員企業41社から77名のご参加をいただき盛大な賀詞交歓となりました。また、来賓として芳賀町から見目匡町長、古谷一良副町長、赤澤幸男建設産業部長、綱川有美商工観光課長、芳賀町議会から小林信二議長、北條勲産業建設常任委員会委員長、芳賀町商工会から田川治道副会長のご臨席をいただきました。

司会進行は、中山克夫総務企画部会長が務めました。

富永英夫副会長は「昨年は芳工連30周年記念事業を盛大に開催することができました。40周年に向けて、今後も相互扶助の精神で地域の活性化を図ってまいりたいと思います」と開会の挨拶を述べました。



富永英夫副会長の開会あいさつ

## ■ 細岡会長が主催者あいさつ

主催者を代表して細岡大会長は「新年明けましておめでとうございます。本日は、多くの会員企業の皆様のご出席とご来賓多数のご臨席をいただき、芳工連の賀詞交歓会をこのように盛大に開催できますことを慶んでおります。

昨年は、芳工連創立30周年記念事業を開催できましたこと改めてお礼申し上げます。30年の歴史は、地域と企業との絆があって歩むことができた歴史です。これからも地域と企業が安定した成長を持続できるよう、皆様のご支援をいただきながら、皆様と共に活動していきたいと思っております。

平成から令和に時代が変わり、平成の30年間を振り返りますと、日本経済はバブル崩壊やデフレ、震災、世界的な金融危機など様々な困難に直面し、それを乗り越える努力を続けてきました。今現在、名目のGDPは550兆円まで拡大し、有効求人倍率は1.6倍を超えて高水準とのことです。この間、日本経済のグローバル化は大きく進展し、貿易額は30年間で2.5倍、海外直接投資は6倍、さらにインバウンド（訪日外国人数）は10倍になっています。こうしたグローバル化の進展や技術革新は、新しい時代の日本経済を大きく発展させる期待が湧きます。一方で、解決できていない課題も多くあります。特に、人口減少、少子・超高齢化が進む中で、雇用人材確保と生産性の向上により潜在成長率を高めていくことは緊急の課題です。また、海外では、米国景気の



細岡大会長のあいさつ

後退懸念、米中貿易対立の先鋭化、イギリスのEU離脱などの保護主義的な動きもみられる中、自由貿易体制を維持・発展させることも重要な課題かと思えます。直面する様々なリスクを注視しなければなりません。内需のけん引力の強まりを背景に、緩やかな回復基調のまま、徐々に経済が上向くことを期待したいと思います。

さて、昨年の芳工連の活動を見てみますと、事業主体である4つの部会が、目指す目標に沿って着実かつ効果的に事業を執行した結果、多くの会員企業と参加された皆様から共感をいただくなど、安全・安心の工業団地づくりに寄与することができました。会員企業様の積極的な参加と協力があって、一つひとつの事業がより充実した内容で執行でき、多くの成果を得ることが出来たことを大変嬉しく思います。会員企業の皆様に、改めて感謝を申し上げます。

芳工連にとって最重点課題としていた交通渋滞対策につきまして、「主要地方道宇都宮向田線大塚工区・平出板戸工区」と「一般国道408号宇都宮高根沢バイパス」が当初計画より2年前倒しで完成できましたこと、これまで、整備促進にご尽力をいただいた芳賀町長はじめ栃木県関係部局の皆様、そしてご支援とご協力をいただいた会員企業の皆様に感謝したいと思います。

しかしながら、折角整備いただいた幹線ですが、信号制御の影響でその効果が発揮されておられません。LRT開業に合わせ周辺幹線道路信号の統合制御を行うとのことですが、LRT整備工事中に信号制御の暫定対応を実施いただき、幹線整備の効果がすぐに発揮いただけるよう働きかける活動をしていきたいと思えます。是非、皆様のご支援をお願いいたします。

2022年3月に開通が見込まれるLRTは、人口減少、少子・超高齢社会を迎える中において、子どもから高齢者まで安心して暮らせる魅力あるまちとして発展するための公共交通として期待されています。昨年からの道路拡張工事が本格的に始まっています、LRT開業の暁には工業団地に立地するすべての企業にプラスの効果をもたらすよう強く願っております。芳工連としても、行政との連携を図るなかで最大の効果が発現できるよう、積極的に働きかけていきたいと思えます。

会員企業の皆様、そして芳賀町並びに関係団体の皆様には、これまで同様、ご理解とご支援をお願いいたします。結びに、会員企業様並びにご参会の皆様のご繁栄とご多幸を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします」などと挨拶しました。

## ■ 来賓あいさつ

見目匡町長は「昨年は芳工連が30周年を迎え、役員を中心に栃木県知事を迎えて盛大に式典が開催され、大変ありがとうございました。

栃木県の県民所得は、第1位東京都、第2位愛知県に次いで第3位で、ものづくり栃木県を支える芳工連の役割は大きいものがあります。

町は、第6次芳賀町振興計画に基づきまちづくりを進めています。働く所、住む所に加え、移動・交流しやすいLRTの整備中で、令和2年度から中央分離帯を軌道にするための工事を実施します。また、交通渋滞解消として町道三日市・宮田線を町道三日市・芳賀工業団地線に名称変更して国交省の事業認可を受けて整備中です。芳賀第2工業団地約23ヘクタールは土砂の搬入中で、令和2年度から県企業局が造成に着手します。工業団地やLRTの相乗効果により、芳賀町だけでなく県全体の底上げになるよう、芳工連が会長を中心に団結して、益々すばらしい工業団地にしてくださ



見目匡町長のあいさつ

るようお願いします」などと挨拶しました。

小林信二議会議長は「昨年の芳工連30周年記念事業の際、自動運転の体験をさせていただき、ものづくりへの情熱、技術の発展に驚愕するとともに、感動いたしました。今後とも安全安心を目指す芳工連と町、議会、商工会がワンチームとなり、スクラムを組んで、町政発展に取り組んでまいりたいと思います」などと挨拶しました。

## ■ 祝 宴

芳賀町商工会の田川治道副会長さんによる乾杯発声で祝宴が始まりました。

宴席では、初参加の方も多く、名刺交換やご挨拶で会場は賑やかとなり、暫し歓談の時間を過ごしました。和やかなうちに歓談することができ、大変有意義な賀詞交歓会となりました。

中締めを担当した渡邊猛副会長は「今年の芳工連は、記念事業で掲げたコンセプト「ありがたいの30年、地域と共に活力ある明日へ」の後半のくだり「更なる活力」づくりへ一歩踏み出す大切な年と考えています。我々を取り巻く事業環境は、形は違えども顧客利点の追求、多様なニーズへの対応、更なる意味的価値の追求など、サービスや仕事のプロセスそのものに、変革が求められるような大転換期を迎えています。そうした中、事業の基盤領域である芳工連の課題を挙げると「LRT 工事が本格化する中で顕在化するであろう渋滞への対応」「次世代への伝承と変革を担う人材確保の取組」「そのための工業団地の魅力づくりや存在感の向上」「昨今の激甚化する災害へのレジリエンス強化とBCPの実効性向上」など多岐にわたります。こうした共通課題に対しては、皆様のお力添えをいただきながら、芳工連の機能を最大限発揮させ、その活動プロセスを通じ「人が育ち」「問題が解決し」「親睦が深まり」そして「活力が生まれる」という好循環を実現し、変化の多いこの時代に対して、前向きに「変化を楽しむ」ことを実践してまいりたいと思っておりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます」と挨拶し、三本締めでお開きとなりました。

## ■ 普通救命講習会

安全衛生部会が主催する第4回普通救命講習会を1月28日、会員企業13社から21名の皆様に参加いただき、山田将之部会長、小堀洋平副部会長出席のもと管理センターで開催しました。

真岡消防署芳賀分署の皆さんにご協力いただき、実技では訓練用マネキンを使用して、参加者一人ひとりが心肺蘇生法とAED使用法について実践しながらに訓練しました。安全確認、反応確認、119番通報と協力依頼、呼吸確認、胸部圧迫、人工呼吸の手順で心肺蘇生を行ない、心肺蘇



小林信二議長のあいさつ



田川治道副会長の乾杯発声



渡邊猛副会長の三本締め



救命講習会の実技練習の様子

生を行なっている際に AED が届けば、直ぐに AED を使用し除細動（電気ショック）を音声メッセージの指示に従い使用します。今後も開催してまいりますので、ぜひ参加してください！

## ■ 芳賀町賀詞交歓会に役員出席

芳賀町賀詞交歓会が 1 月 8 日、芳賀温泉口マンの湯において開催され、町議会議員、自治会長ほか各種団体代表者など約 120 名が新春を祝いました。

芳工連から細岡会長、宮崎副会長、富永副会長、渡邊副会長など役員 7 名と事務局長渡辺が出席しました。

見目匡町長は「宇都宮市と共同で進めている LRT 事業は開業に向けて軌道敷設工事などを行います。また、県企業局と連携して整備している芳賀第 2 工業団地約 23 ヘクタールの造成工事に着手し、優良企業の誘致と早期操業開始を目指します」などと挨拶しました。

来賓の祝辞に続き、乾杯発声の指名を受けた芳工連細岡大会長が「昨年は、芳工連創立 30 周年記念事業を開催できましたこと改めてお礼申し上げます。30 年の歴史は、地域と企業との絆があって歩むことができた歴史です。これからも地域と企業が安定した成長を持続できるよう、皆様のご支援をいただきながら、皆様と共に活動していきたいと思っております。

令和 4 年 3 月に開通が見込まれる LRT、開業の暁には工業団地に立地するすべての企業にプラスの効果をもたらすよう強く願っております。芳工連は、「民・官・学」と連携を取り、重点施策であります「安全で安心な工業団地づくり」を目指し努力してまいりますので、引き続きご協力の程よろしくお願いたします」などと挨拶しました。

出席された役員からは「各種団体の代表の方と楽しく歓談する中で、有意義な情報交換ができ、大変良かった」との感想をいただきました。



見目町長の挨拶



細岡会長の乾杯発声

## ■ お知らせ

◆ 芳賀町長、栃木県商工労働観光部長との意見交換会における要望事項の一部が反映されました。

(1) 芳賀バスターミナル出入口

：「停止禁止」の指定・表示

(2) 県道宇都宮茂木線：管理センター前交差点から東の植樹柵の舗装工事

◆ とちぎ国体 いちご一会(いちえ)募金に対して、芳工連に感謝状が贈呈されました。また、新スタジアムに芳工連の銘板が設置されます。



(1) 停止禁止表示



(2) 歩道の植栽柵舗装

## 芳工連日誌

### 【1月の実績】

6日 仕事始め  
8日 芳賀町賀詞交歓会  
22日 資源ごみ回収  
24日 芳工連賀詞交歓会  
28日 普通救命講習会

### 【2月の予定】

5日 企業視察  
12日 第42回ボウリング大会  
26日 資源ごみ回収  
27日 企業の人材育成研修プログラム  
～28日 体験モニターツアー

